

2020年度第5回
CUC公開講座

2021.2.26 (F)
Zoomにて

2017年度～2020年度 学長プロジェクト活動について

学長 原科幸彦

千葉商科大学「学長プロジェクト」

学校法人千葉学園の第1期中期経営計画を踏まえ、学長が掲げる基本戦略の下、教育研究及び社会貢献を行ってきました。

本学は「治道家」すなわち、大局的見地に立ち、時代の変化を捉え、社会の諸課題を解決する、高い倫理観を備えた指導者を育成することを目的としています。それには、専門的な知識・技能とともに高い倫理観を持たせることが必要で、新たな概念の幅広い教養を身につけさせ、実学を通した学びを実践しています。

そこで、人類共通の課題である持続可能な社会づくりへ、本学の歴史と特性を踏まえ4つの大きなテーマを設定し、学部を越えて教職員と学生の共同のもと2017年から学長プロジェクトを開始しました。この学長プロジェクトで扱う領域は、国連のSDGs（持続可能な開発目標）のいくつもの目標をカバーしており、全学横断的に多様な主体の協働で推進しています。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

17 GOALS TO TRANSFORM OUR WORLD



誰ひとり、取り残さない

仁の心

国連持続可能な開発シンポ（2015.9）で採択、2016.1より開始

学長プロジェクト1 会計学の新展開



Accountingと**Accountability**を担う会計学の新展開をめざし、情報ネットワーク社会に対応する。これとともに、**会計学**(Accounting)の社会的役割である意思決定過程の厳正な明確化と透明性を確保し、企業経営と事業活動の説明責任(Accountability)を果たすことを可能とする対策を探求し、情報発信していきます。

- ◆ICTを活用した新たなマネジメント会計： SUT作成におけるインボイス情報活用
- ◆公会計改革と自治体財政
- ◆やってみるといふ学び方の実践
IT帳簿の研究

学長プロジェクト2 CSR研究と普及啓発



CSRはビジネス倫理に基づいて企業の行動様式を環境や社会へ配慮したものに変わっていくことです。真に社会に必要とされるあるべきSR(大学の場合は**USR**)について考えます。環境・社会に配慮した広義のアセスメント研究や**ESG投資**、社会的責任の視点からの新しい大学ランキング指標の開発や**エシカルグッズ**開発なども行います。

- ◆環境・社会に配慮した広義のアセスメント研究
- ◆ ESG投資
- ◆社会的責任の視点からの新しい大学評価指標の開発
- ◆エシカル消費の啓蒙、教育、エシカルグッズの開発

学長プロジェクト3

安全・安心な都市・地域づくり (Resilience)



大学の所在地、市川市国府台地区を市川・江戸川地域の**防災拠点**のひとつとするだけでなく、**近隣の大学等**や**病院と連携**し、国府台コンソーシアムの形成をめざします。また**地域資源**を生かしたまちづくりや安全な地域交通システムの形成などにも多様な主体と連携し取り組みます。

- ◆国府台コンソーシアム、
大学コンソーシアム市川、産官学PF
- ◆サバイバルキャンププロジェクト
- ◆CUC100ワイン・プロジェクト
- ◆ソーラーシェアリング研究会
- ◆災害時車両利用リスク対応プロジェクト
- ◆学内防災体制整備への助言
- ◆学会活動で持続可能なまちづくり研究⁶

学長プロジェクト4

環境・エネルギー (Sustainability)



大学所有のメガソーラー発電所などの発電量と大学のエネルギー使用量を同量にする「**自然エネルギー100%大学**」への取り組みを進めるとともに、地域に貢献するエネルギー事業者の起業・経営支援など、本学が持続可能な地域分散型エネルギー社会の核となることをめざします。

- ◆自然エネルギー100%大学「電気」について達成、2019
 - ・省エネ・創エネの設備導入
 - ・学生が主導する省エネの普及啓発
 - ・学生と教職員による省エネ研究
- ◆活動の社会への展開
 - ・「自然エネルギー大学リーグ」
大学コミュニティに水平展開

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

17 GOALS TO TRANSFORM OUR WORLD



国連持続可能な開発シンポ（2015.9）で採択、2016.1より開始

「千葉商科大学 SDGs行動憲章」 2019年9月

- 千葉商科大学は、その教育研究及び事業活動において、国連が提唱する国際的な枠組みであるSDGs(持続可能な開発目標)の達成に貢献する行動を推進します。

(組織統治)

1. ESG(環境・社会・ガバナンス)に配慮した大学運営を推進します。

(教育・研究)

2. 世界の諸課題を解決し未来を創造するため、「高い倫理観」「幅広い教養」「専門的な知識・技能」を有する人物「治道家(ちどうか)」を輩出するための教育並びに学術研究を推進し、高等教育機関としての責務を果たします。

(人権)

3. 学生・教職員一人ひとりの個性や異なる価値観を受け入れ、相互理解を推進し、各自の能力を十分に発揮できる環境を整えます。

(環境・エネルギー)

4. 地球環境問題を全世界共通の課題と捉え、環境負荷低減に学生・教職員が一丸となって取り組みます。特に地球温暖化対策という人類の重要課題に対する環境目標として「自然エネルギー100%大学」を実現するとともに、これを社会に広げて行きます。

(防災・地域発展)

5. 地域社会と連携し、地域の継続的発展および安全・安心なまちづくりを推進します。